



- ●ドリルやテストが終わったら、うしろの「がんばり表」に色をぬりましょう。
- ●まちがえたら、必ずやり直しましょう。 「考え方」も読み直しましょう。



→ 1。 ① 整数と小数

- ① ①百、十 ② | ② | 100
- 2 ①3、4、2、9、3 ②1、0、2、1
- 3 ①< ②> ③< ④>
 4 ①9 2 ②36 2

考え方 ⑤ ①数の大きい順にあてはめます。 ②4より大きい数で4にいちばん近い数 4.0 | 23 と、4より小さい数で4にいち ばん近い数 3.9876 で、どちらが4に近 いかを調べましょう。

- **1** ①10 ②100
- ② ①62.8 ②243 ③217 ④9830 ⑤5620 ⑥48300
- 3 $0\frac{1}{10}$ $2\frac{1}{100}$
- **4** ①7.26 ②0.263 ③6.312 ④0.256 ⑤0.8372 ⑥0.0738

→ 3。② 直方体や立方体の体積 、3。

- 1 体積、 | 立方センチメートル、 | cm³
- ② ①30 ②24 cm³ ③⑦、6 cm³
- 3 ① 2 cm³ ② I cm³

→ 4。② 直方体や立方体の体積 (4,)

- ① ①式 3×3×3=27 答え 27 こ ②27 cm³
- ② ①式 6×10×8=480

答え 480 cm³

②式 ||×5×3=|65

答え | 65 cm³

③式 5×5×5=125 答え 125 cm³

③ ①式 I2×9×3=324

答え 324 cm³

②式 6×6×6=2|6 答え 2|6 cm³

- **考え方 2** 体積は、次の公式で求めます。 直方体の体積=たて×横×高さ 立方体の体積= | 辺× | 辺× | 辺
- ①組み立てると、たて | 2 cm、横9 cm、高さ3 cm の直方体ができます。②組み立てると、 | 辺の長さが6 cm の立方体ができます。

① ①A 式 5×8×4=160 B 式 5×3×2=30 A+B 式 160+30=190

答え 190 cm³

②A 式 5×8×6=240 B 式 5×5×2=50 A-B 式 240-50=190

答え 190 cm³

② ①式 |0×|5×|2-|0×|0×4 =|800-400

= 1400

答え | 400 cm³

②式 6×10×2-3×4×2

= 120 - 24

=96

答え 96 cm³

③式 6×8×3+4×8×3

= 144 + 96

=240

答え 240 cm³

考え方 ② 大きな直方体の体積からへこんだ部分の体積をひいて求める方法と、2つの直方体に分けて体積をそれぞれ求め、たして求める方法があります。

>6。② 直方体や立方体の体積 、6。

- 1 | 立方メートル、| m³
- ② ①式 5×12×3=180 答え 180 m³ ②式 4×4×4=64 答え 64 m³
- 3 式 16×30×25=12000

答え | 12000 cm³、 | 2 L

 1辺の長さ
 I cm
 I 0cm
 I m

 正方形の面積 I cm² I 000cm² I m²

 立方体の体積 I cm³ I mL
 I L
 I kL

考え方 ③ IL=I000 mL=I000 cm³ 入れ物の内側の長さを「内のり」といいます。

⇒7。 ③ 比例

7ページ

- **1** ①80、8、240、3、6、3
 - ②6倍
 - ③比例する
- **2** ①48 cm³
 - ②高さ…6cm 体積…3倍
 - ③比例している。

考え方 ② ①体積は、

 $6\times4\times2=48\,(\text{cm}^3)$

- ②高さは3倍になる。体積は、直方体の3つ分だから、3倍になる。
- ③高さが2倍、3倍、…になると、それに ともなって体積も2倍、3倍、…になるの で、体積は高さに比例している。

→ 8。 ③ 比例

ページ

- ①比例している。
 - ②厚さが2倍、3倍、…になると、それに ともなってまい数も2倍、3倍、…になっ ているから。
- 2 ①比例している。
 - 276.6
- ③ ③式 40×12=480 答え 480円

→ 9。 ④ 小数のかけ算

9ページ

- ① ①32、10、10、32、10、32、192、192
 - ②10、32、32、10、32、10、192、192
- ② ①62 ②126 ③212 ④110 ⑤420 ⑥770
- ③ 式 400×6.2=2480

答え 2480円

考え方 ② かける数を | 0 倍し、かけられる数を | 0 でわっても、積は変わりません。かける数を | 0 倍して計算し、積を | 0 でわる方法もあります。

 $0.20 \times 3.1 = 2 \times 31 = 62$ \$\text{\$t\$, \$20 \times 3.1} = 20 \times 31 \div 10 = 62

10。 ④ 小数のかけ算

10 ページ

- ① ① 10、 10、 100 ② 156 156 100
 - **2**156、156、100、1.56
- **2** ①88.8
- 288.8
- 38.88
- **3** (1) 2.93 3.1 2 8.4 $\times 2.3$ × 3.2 \times 4.7 586 1988 9 3 6 2 879 1136 9.376 T 3 3.4 8 7.13
 - 28.3 (5) 67 243 6 <u>×</u>5.4 $\times 6.08$ $\times 9.2$ 972 2264 134 1698 603 1215 172.064 6 | 6.4 1312.2
- ④ 式 2.7×3.4=9.18 答え 9.18 kg

- **考え方** かけられる数とかける数の、小数点 以下のけた数の和が、積の小数点以下のけ た数と同じになります。
- 2 小数点をどこにうてばよいか考えましょう。
- 3 整数の部分どうしのかけ算をして、積の 整数の部分がおよそいくつになるか見当を つけると、小数点の位置のまちがいが少な くなります。

11。 ④ 小数のかけ算

11 ページ

- ② 0.3 ③ 2.6 ×2.5 130 6 0.775 3.9 §
 - (4) 7.5 (5) 2.166 35 $\times 4.2$ \times 9.5 $\times 4.8$ 150 280 1080 300 1944 140 3 1.5 0 20.520 168.0

 - $\begin{array}{c}
 0.5 \\
 \times 1.6 \\
 \hline
 30 \\
 \hline
 0.8 & \end{array}$
- 2 ①、 王
- 3 ① 6.4 ② 15.3 ③ 0.8 × 0.2 □.28 × 0.4 6.12 × 0.7 0.56
- 考え方 小数の最後の () は消します。小数点 の前に数字がないときは、一の位をはっき りさせるために () を書いて、小数点をうち ます。

[12] ④ 小数のかけ算

12 ページ

13 ページ

- ① ①1.44 m² ②94.3 cm²
- ② 式 3.5×4.3×0.8=12.04

答え | 2.04 m³

- **3** ①0.5、6、6、138、3、141 ②59.4 ③98 ④7.4
 - 516 659
- **電力** ① ①1.2×1.2=1.44 ②11.5×8.2=94.3
- 3 次のようにくふうして計算します。
 - $@19.8 \times 3 = (20 0.2) \times 3$
 - $=20 \times 3 0.2 \times 3$
 - $34 \times 9.8 \times 2.5 = (4 \times 2.5) \times 9.8$
 - $(4)3.7 \times 0.4 \times 5 = 3.7 \times (0.4 \times 5)$
 - $57.2 \times 1.6 + 2.8 \times 1.6$
 - $=(7.2+2.8)\times1.6$
 - $613.2 \times 5.9 3.2 \times 5.9$
 - $=(13.2-3.2)\times5.9$

13. ④ 小数のかけ算

- 2.7 40 2 36 (3) $\times 8.7$ $\times 5.3$ $\times 7.8$ 280 2 | 6 108 320 180 189 3 4 8.0 190.8 2 1.0 6
 - 4 23.2 (5) 7.8 6 2 0.3 \times 3.6 $\times 3.49$ \times 8.5 1392 7021015 696 3 | 2 1624 8 3.5 2 234 172.55 27.222
 - 7.45 9 0.2 $\overline{7}$ 3.8 8 \times 1.4 $\times 4.5$ $\times 4.9$ 190 2980 18 152 745 8 17.1 Q 1 0.4 3 Q 0.98
- 2 式 240×4.2=1008 答え 1008円
- **3** ①8.9
- 274
- 4 ①0.4 ②22.09 ③大きく

考之方 3 ①0.4×8.9×2.5

- $=(0.4 \times 2.5) \times 8.9$
- $219.6 \times 3.7 + 0.4 \times 3.7$
- $=(19.6+0.4)\times3.7$
- ①0.8×0.5 で求められます。
 - ②4.7×4.7で求められます。
 - ③ | より大きい数をかけると、積はかけられる数より大きくなります。

(14. ⑤ 小数のわり算

- 14 ページ
- ① ①15、15、15 ②10、10、10、15 ③400、400
- **2** ①60
- 2160
- 350

- **450**
- **5**40
- 680
- 3 式 180÷4.5=40
- 答え 40円

考え方 ① 2つの考え方があります。

- わる数を | 倍にすると商は | 10 になる
 ので、商を | 倍すると、正しい答えに
 - ので、商を | () 倍すると、正しい答えに なります。 → ()
- わられる数、わる数をともに | 倍しても、商は変わりません。→②
- 計算がかんたんになるほうを使いましょう。

15。⑤ 小数のわり算

15 ページ

0

- 1.2)6.6 60 60
- 2 6.5 8,4)5 4,6 5 0 4 4 2 0 4 2 0
- 3 5.5 4.8)26.4 240 240 240
- $\begin{array}{r}
 (4) & 3.5 \\
 5.6) & | 9.6 \\
 & | 6.8 \\
 \hline
 2.80 \\
 2.80 \\
 0
 \end{array}$
- 6 7 3.5)24.5 245 0

- 3.6) | 4.4 | 4.4 | 4.4
- \[
 \begin{align*}
 & 3 4 \\
 & 2 \. 6 \end{align*}
 & 8 \. 4 \\
 & 7 8 \\
 & 1 0 4 \\
 & 1 0 4 \\
 & 0
 \end{align*}
 \]
- 2 ①0.18
- 218
- 31.8 2 0.6
- 3.4) 1.7.0 170 0
 - $\begin{array}{cccc}
 0.5 & & & & & & & & & \\
 \hline
 1.7.0 & & & & & & & & \\
 1.70 & & & & & & & \\
 \hline
 0 & & & & & & & \\
 \end{array}$
 - 3 0.7 2.3) 1.6.1 161 0

- **考え方** 3 わられる数が整数のときは、小数点を動かすとき、動いた分の位を表す 0 を書きたします。

16. ⑤ 小数のわり算

16 ページ

- **1** アとウ
- ② 3.65 0.4) 1.4.6 12 26 24 20 0

$$\begin{array}{c}
3 \oplus \underbrace{2.78}_{2.78} \\
1.4)3.9 \\
\underline{28}_{110} \\
\underline{98}_{120} \\
\underline{112}_{8}
\end{array}$$

答え 約3.1 kg

17 ページ

- 考え方 ② わられる数の小数点も、わる数 と同じだけ右にうつします。4のように数 がないときは、〇を書きたします。
- 3 上から2けたのがい数を求めるには、上 から3けためを四捨五入します。

小数のわり算

1 ①4、0.3 ②4人

- 30.3 m 44, 0.3
- $(27.8 \div 2.8 = 2 \text{ as } 9.2)$
- $(3)9.6 \div 2.7 = 3$ = 3 = 3 = 1.5
- $430.4 \div 8.4 = 3$ 5.2
- $(5) | 8.3 \div 3. | = 5 \text{ as } 9 \text{ 2.8}$
- $638 \div 5.3 = 7$ 53.9
- <検算> ①0.9×6+0.4=5.8 $22.8 \times 2 + 2.2 = 7.8$

$$32.7 \times 3 + 1.5 = 9.6$$

 $48.4 \times 3 + 5.2 = 30.4$
 $53.1 \times 5 + 2.8 = 18.3$
 $5.3 \times 7 + 0.9 = 38$

考え方 2 あまりの小数点の位置は、わら れる数のもとの小数点の位置と同じです。 商の小数点の位置とはちがうこともあるの で注意しましょう。

18. 小数のわり算 (5)

約 5.8 m 答え

- **3** ① | 7.4 ÷ 3.2 = 5 あまり | .4
 - $243.8 \div 4.6 = 9$ 54.4
 - $356 \div 6.1 = 9$ 56×1.1
 - <検算> ①3.2×5+1.4=17.4

 $24.6 \times 9 + 2.4 = 43.8$ $36.1 \times 9 + 1.1 = 56$

考え方 3 検算では「わる数×商+あまり =わられる数」を利用して、答えを確かめ ましょう。

9 (3) 5 ② \bigcirc 4,6)43,8 6,1)56,0 3,2)17,4 4 | 4 160 5 4 9 14 2.4

19。 小数の倍

19 ページ

- **1** ①5、2、2.5、2、5 22、5、0.4
- **2** ①1.2、2.4、0.5、0.5 ②左から、0.75、1.5 30.75, 0.5

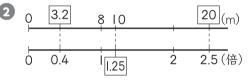
考え方 2 ②高校…1.2÷1.6=0.75 中学校…2.4÷1.6=1.5

③中学校…2.4÷3.2=0.75 ようち園…1.6÷3.2=0.5

20。 小数の倍

20 ページ

- ① 式 2×2.5=5 ②式 $2 \times 0.8 = 1.6$
- **答え** 5L 答え 1.6 L



3 ① 9、4.3、1、4.3 ②式 9×0.7=6.3

答え 6.3 kg

考え方 2 8mを | とみているので、0.4 にあたる量は、 $8 \times 0.4 = 3.2$ (m) また、 |0mは、 $|0\div8=|.25$ (倍)になります。

3 ②9×0.7=6.3の式は、9kgを1と みたとき、0.7 にあたる重さが 6.3 kg で あることを表しています。

21。 小数の倍

21 ページ

 $\bigcirc \bigcirc \times 3.2 = 20.8$ ②式 □=20.8÷3.2 =6.5

答え 6.5 kg

② ①プリン 式 |40÷|00=|.4 答え | 4倍 ョーグルト 式 | 20÷80=1.5

答え 1.5倍

②ヨーグルト

考え方 ② もとのねだんがちがうので、 2010年のねだんを | とみたとき、2020 年のねだんがいくつにあたるかを調べます。

22。 ⑥ 合同な図形

22

- በ 順に、(()、(か)、え)
- **2** ①4.1 cm 22.9 cm 335° 490° $(5)55^{\circ}$
- 3 ①台形 ②ひし形、正方形

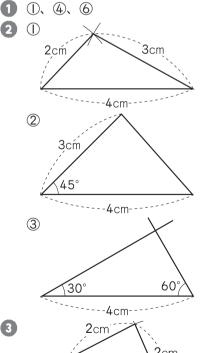
考え方 ② それぞれ次の辺や角が対応しま

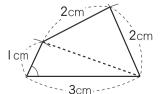
す。

①辺AB ②辺AC ③ 角 B **4**角A ⑤角 C

23。⑥ 合同な図形

23 ~->





考え方 3 |本の対角線で2つの三角形に 分けて考えれば、合同な三角形のかき方を 使ってかくことができます。図に示した角 の大きさは 65° です。

24。整数と小数/直方体や立方体の体積

 $\mathbf{1}$ \mathbb{O} 7, 9, 5

26, 5, 7, 8

10倍 100倍 $\overline{10}$ 100 23 230 2300 2.3 0.23 2650 26.5 265 2.65 0.265 10.02 100.2 1002 1.002 0.1002

・ ①式 7×7×7=343 答え 343 cm³ 答え 56 m³

②式 2×7×4=56

☆ 式 2×4×3−2×3×1 =24-6=18

答え 18 cm³

考え方 🗘 小数や整数を | 0 倍、 | 00 倍、 …すると、位は、それぞれ | けた、2 けた、 …上がります。小数点の位置は、それぞれ 右に | けた、2けた、…うつります。また、 小数や整数を $\frac{1}{10}$ 、 $\frac{1}{100}$ 、…にすると、位 は、それぞれ | けた、2 けた、…下がりま す。小数点の位置は、それぞれ左に | けた、 2けた、…うつります。

🚱 直方体、立方体の体積は次の式で求める ことができます。

> 直方体の体積=たて×横×高さ 立方体の体積= | 辺× | 辺× | 辺

★ 大きい直方体の体積から中の欠けた部分 の直方体の体積をひいて求めましょう。

25。比例/小数のかけ算/小数のわり算

↑ ①比例している。

2800 g

1 ①5.32

224.84 30.52

40.45 ⑤3.5

67.5

1 ①7.62 210

考え方 👚 ①まい数が2倍、3倍、…にな ると、それにともなって重さも2倍、3倍、 …になるので、重さはまい数に比例しています。 ②まい数が20まいから200まいの10 倍になると、重さも | 0 倍になるから、 $80 \times 10 = 800(q)$

 $\bigcirc 0.5 \times 7.62 \times 2 = (0.5 \times 2) \times 7.62$

 $=1 \times 7.62$

 $21.9 \times 2.5 + 2.1 \times 2.5$

 $=(1.9+2.1)\times2.5=4\times2.5$

(26. 小数の倍/合同な図形

26

1 ①1.25

②式 $60 \div 25 = 2.4$

答え 2.4 倍

答え 32 cm

27 ページ

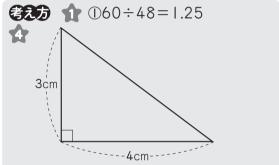
☆ 式 □×1.5=48

 $\Box = 48 \div 1.5$

③角F

③ ①頂点E ②辺FG

5cm



27。 ⑦ 図形の角

① ①A…90 B…45 C…45 和は…180

2D...90 E...60

F…30 和は…180

2 ①60+60+60=180

260+70+50=180

320+30+130=180

3 (1)80

2 | 45

345

4130

© 150

考え方 3 ①180-(55+45)=80

2 | 80 - (| 5 + 20) = | 45

3180 - (110 + 25) = 45

4のこりの内側の角は、

180 - (50 + 80) = 50

□の角は、|80-50=|30

⑤のこりの内側の角は、 180 - (120 + 30) = 30□の角は、180-30=150

(18. ⑦ 図形の角

28 ページ

- **1** ①2、3
 - 22、360、3、540
 - ③直線、多角形
- **2** (1)80 (2)105
- **370**
 - (4)40
- 3 九角形… | 260° 十角形… | 440°
- 考え方 **2** ①360-(70+90+120) =80
 - 2360 (85 + 95 + 105) = 75180 - 75 = 105
 - $3(360-110\times2)\div2=70$
 - $4(360-140\times2)\div2=40$
- 3 九角形は7つの三角形に分けられるから、 $180 \times 7 = 1260$ 十角形は8つの三角形に分けられるから、 $180 \times 8 = 1440$

(19. ⑦ 図形の角

29 ページ

- **1** (1)360°
 - ②角齿…角(い) 角砂…角あ 角色…角え
 - 3360°
 - ④9cm ⑤4cm ⑥平行四辺形
- **2** 360、1

30。 ⑧ 偶数と奇数、倍数と約数

- 1 偶数、奇数
- 2 (1)()
 - (2)×
- (3)
- **4**)()
- 3 ①偶数…36、76、84
 - ②奇数…17、23、41、67、99
- 4 ①偶数
- (2)奇数
- 5 ①9、偶数
- ②21、偶数
- ③6、奇数
- 4 8、奇数

考え方 2 ① 0 は偶数に入ります。

- ③、4 整数が偶数か奇数かは、整数の一 の位の数字で決まります。
 - 偶数…一の位が ()、 2、 4、 6、 8 奇数…一の位が | 、3、5、7、9

31。 ⑧ 偶数と奇数、倍数と約数 31,

- 7、14、21、28、35
- **2** ①2、4、6、8、10、12、14、16、 18, 20, 22, 24, 26, 28, 30
 - 23, 6, 9, 12, 15, 18, 21, 24, 27、30
 - 35, 10, 15, 20, 25, 30
- **3** ①6、12、18、24、30
 - 210, 20, 30
 - 315, 30
 - 46
- 5|0 6|5

考え方 ()は倍数に入れないことにします。

32。 ⑧ 偶数と奇数、倍数と約数 32

- **1** ①10、20、30、40
 - 212, 24, 36, 48
 - 328, 56, 84, 112
 - **430**、60、90、120
 - **⑤**18、36、54、72
- $2 \oplus 4$
- 26
- 324

- **3** ①30
- (2)80
- 312
- 4 10時20分

考え方 最小公倍数を利用します。

- 1 もっとも小さい公倍数は最小公倍数で、 それ以外の3つの公倍数は、最小公倍数を 2倍、3倍、4倍して求めます。
- 4 8と | 2 と | 5 の最小公倍数は | 20 で |20分=2時間だから、8時20分の2 時間後となります。

(33。 ⑧ 偶数と奇数、倍数と約数 33。

- - ②約数
- **2** ① 1、3、9 ② 1、3、5、15 ③1、2、3、6、9、18
- **3** ① 1、3、9 (2)9
- ♠ ①♥ 1、2、3、4、6、8、12、24 $\bigcirc 1, 2, 4, 5, 10, 20$

 - **②約数**

34。 ⑧ 偶数と奇数、倍数と約数 34

- ① ①公約数… | 、2、4 最大公約数… 4
 - ②公約数… |、2、4、8 最大公約数…8
 - ③公約数… 1、3、9 最大公約数…9
 - ④公約数… 1、2、3、6 最大公約数…6
 - ⑤公約数… | 、5 最大公約数…5
 - ⑥公約数…1、2、3、4、6、12 最大公約数…12
- 2 | 辺の長さ…8cm 正方形の紙のまい数… | 5 まい
- **3** ①7

28

ります。

- 2 | 辺の長さは、24 と 40 の最大公約数 になります。
- 3 いちばん小さい数の約数から考えます。

(35. ② 分数と小数、整数の関係 35.

- 0 $0\frac{1}{2}$
- ②分母、分子
- $3 \mathcal{P} \frac{1}{5}$ $4 \cdot 5$
- **2** $\bigcirc \frac{4}{7}$ $\bigcirc \frac{6}{11}$ $\bigcirc \frac{13}{8}$ $\bigcirc \frac{8}{15}$

- $5\frac{13}{4}$ $6\frac{8}{3}$
- 3 19 21 37 46 (5)563, 13

考え方 2、3 ■÷●=■、■=■÷● を使います。

36。 ② 分数と小数、整数の関係 36

- **1** ①5、6、 $\frac{5}{6}$ 、7、6、 $\frac{7}{6}$
 - 26,5
 - ③式 $6 \div 7 = \frac{6}{7}$

答え ⁶7倍

2 ①式 $15 \div 8 = \frac{15}{8}$

答え | 15 倍

②式 $8 \div 15 = \frac{8}{15}$ 答え $\frac{8}{15}$ 倍

37。 9 分数と小数、整数の関係 37

- **1** ①3、4、0.75
- $231, \frac{31}{100}$
 - $37, \frac{7}{4}$
- 2 (1)>

- (2)
- **1** ①1.75 23.8
- 33 (4)2.375
- \bullet $\oplus \frac{9}{10}$ \circ $\circ \frac{37}{100}$

 - $3\frac{9}{1}$ $4\frac{403}{100}(4\frac{3}{100})$

考え方 ① ③整数を分数で表すには、分母 を | にします。

(38.9) 分数と小数、整数の関係

- **1** $0\frac{9}{2}$ $0\frac{5}{8}$ $0\frac{7}{6}$

- **2** ①7
- 29 3100
- **3** ① $\frac{9}{14}$ 倍 ② $\frac{14}{9}$
 - (2)2.25
- **4** ①0.875

33.2

- $49\frac{49}{100}$
- $(5)\frac{10}{100}$ $(5)\frac{307}{100}(3\frac{7}{100})$
- 5 ()<

(2)>

考え方 5 分数を小数で表して考えます。

- $\bigcirc \frac{8}{5} = 1.6$ $\bigcirc \frac{31}{50} = 0.62$

√ ・ 小数や整数を分数で、分数は小数で 表せるようにしておきましょう。

(3%) プログラミングを体験しよう 3%

- ❶ ①4でわったときのあまりが0になる数 ② 1、2、何もしない
 - | | | 何もしない |6||数を書き出す |2|数を書き出す |7| 何もしない |3||何もしない |8|何もしない |4| 何もしない |9||何もしない | 15 | 何もしない 20 数を書き出す
 - 4100、12、0

40。 ⑩ 分数のたし算とひき算

 $2\frac{2}{5} \cdots \frac{4}{10}, \frac{1}{2} \cdots \frac{5}{10}$

 $3\frac{9}{10}$

2 $\bigcirc \frac{3}{4} = \frac{3 \times 3}{4 \times |3|} = \frac{9}{|12|}$

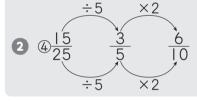
 $2\frac{3}{7} = \frac{6}{14} = \frac{9}{21}$

 $3\frac{6}{9} = \frac{6 \div 3}{9 \div 3} = \frac{2}{3}$

 $4\frac{15}{25} = \frac{3}{15} = \frac{6}{10}$

考え方 ① ①、②同じ | の長さの数直線を、 ⑦は2等分、①は5等分、②は 10等分と いうように分母の大きさで分けています。 数直線の右にあるほうが大きい数です。

 $3\frac{2}{5} + \frac{1}{2} = \frac{4}{10} + \frac{5}{10} = \frac{9}{10}$



(41。 ⑩ 分数のたし算とひき算 (41)

2 $\bigcirc \frac{1}{4} = \frac{2}{8} = \frac{\boxed{3}}{12} = \frac{4}{16} = \frac{\boxed{5}}{20} = \frac{6}{24} = \frac{\boxed{7}}{28}$ $=\frac{8}{22}=\cdots$

 $\frac{2}{7} = \frac{4}{14} = \frac{6}{21} = \frac{8}{28} = \frac{10}{35} = \cdots$

 $2\frac{1}{4} = \frac{7}{28}, \frac{2}{7} = \frac{8}{28}$

③式 $\frac{2}{7} - \frac{1}{4} = \frac{8}{28} - \frac{7}{28} = \frac{1}{28}$

答え | 28 m

考え方 ↑ 約分をするとき、分母と分子を 両方の最大公約数でわれば、一度にできま すが、とりあえず思いついた公約数でわっ て、さらに公約数をさがす、というやり方 でもよいでしょう。

(42. ① 分数のたし算とひき算 42.

1 ()>

2 $0 \frac{10}{24}$, $\frac{9}{24}$ $0 \frac{45}{60}$, $\frac{16}{60}$, $\frac{9}{60}$

3 $0\frac{7}{8}$ $2\frac{41}{42}$ $3\frac{19}{20}$

 $4\frac{3}{10}$ $5\frac{17}{36}$ $6\frac{1}{12}$

考え方 ①、②、③ 通分するときは最小 公倍数を利用しましょう。

3 $()\frac{5}{8} + \frac{1}{4} = \frac{5}{8} + \frac{2}{8} = \frac{7}{8}$

 $3\frac{1}{5} + \frac{3}{4} = \frac{4}{20} + \frac{15}{20} = \frac{19}{20}$

 $5\frac{8}{9} - \frac{5}{12} = \frac{32}{36} - \frac{15}{36} = \frac{17}{36}$

(43。 ⁽¹⁾ 分数のたし算とひき算 (43)

 $4\frac{1}{5}$ $5\frac{1}{2}$ $6\frac{23}{36}$

2 0.4 - 8.15 + 1.2 = 1.2 - 8.15 + 1.2 =

 $=\frac{4}{15}+\frac{1}{9}=\frac{12}{45}+\frac{5}{45}=\frac{17}{45}$

 $2\frac{4}{5} - \frac{8}{15} + \frac{1}{9} = \frac{36}{45} - \frac{24}{45} + \frac{5}{45} = \frac{17}{45}$

考之方

 $4\frac{7}{10} - \frac{1}{2} = \frac{7}{10} - \frac{5}{10} = \frac{2}{10} = \frac{1}{5}$

 $5\frac{9}{14} - \frac{1}{7} = \frac{9}{14} - \frac{2}{14} = \frac{7}{14} = \frac{1}{2}$

44。 ⑩ 分数のたし算とひき算 44。

1 ①
$$3\frac{17}{30}(\frac{107}{30})$$
 ② $5\frac{1}{12}(\frac{61}{12})$ ③ $1\frac{1}{2}(\frac{3}{2})$

4
$$0.50$$
, 10 , 5 4 4

$$3\frac{80}{60}$$
, $|\frac{20}{60}$, $\frac{16}{12}$, $|\frac{4}{12}$, $\frac{8}{6}$, $|\frac{2}{6}$, $\frac{4}{3}$, $|\frac{1}{3}$ \$\tau \text{\$\text{\$'}}\$

考え方 ① 分母のちがう帯分数のたし算やひき算は、帯分数のまま通分するか、仮分数になおしてから通分するしかたで計算しましょう。

$$31.5 + \frac{1}{6} = \frac{15}{10} + \frac{1}{6}$$
$$= \frac{45}{30} + \frac{5}{30} = \frac{50}{30} = \frac{5}{30}$$

45。 ⑩ 分数のたし算とひき算 45,

5 ①式
$$\frac{2}{3} + \frac{1}{7} = \frac{14}{21} + \frac{3}{21} = \frac{17}{21}$$

②式
$$\frac{20}{21} - \frac{2}{3} = \frac{20}{21} - \frac{14}{21} = \frac{6}{21} = \frac{2}{7}$$

答え
$$\frac{2}{7}$$
 km

2 426 と 9 | の最大公約数は | 3 です。

46。 ① 平均

~-ÿ

答え 1572 g

考え方 2、**3** 平均を使うと、全体の量を予想することができます。

(47。 ① 平均

47 ページ

答え 6.4 点

3 式
$$(2+4+6+0+5)\div 5=3.4$$

答え 3.4 人

考え方 平均を求めるとき、〇のときも個数に入れます。

48。 ① 平均

48 ページ

答え 9.1 秒

考え方 ② ② | 3.5 秒をのぞいた 3 回分の 平均を求めます。

49。 ⑫ 単位量あたりの大きさ

- ①水の量と熱帯魚の数
 - 2 A
 - 3°C
 - ④式 Aの水そう | 04÷80=1.3

Cの水そう 96÷70=1.37…

答え C

⑤式 Aの水そう 80÷104=0.7&9… Cの水そう 70÷96=0.7&9…

答え C

考え方 ① ②水の量が同じだから、魚の数の多いほうがこんでいます。③魚の数が同じだから、水の量が少ないほうがこんでいます。⑤熱帯魚 | ぴきあたりの水の量の少ないほうがこんでいることになります。

50。 ⑫ 単位量あたりの大きさ

1 東京都

式 | 4090000÷2|94=6422.···

答え 約6400人

大阪府

式 8780000÷1905=4608.···

答え 約4600人

- ① ①920÷800=[1.15](kg)690÷500=[1.38](kg)②Bさんの家の畑
- 3 式 A店 380÷4=95(円) B店 540÷6=90(円)

答え A店

考え方 1 人口密度は、 | km² あたりの人口で表します。

51。 ⑫ 単位量あたりの大きさ **51**

- ① ①80、20、50、2、25 ②4、0.05、2、50、0.04
 - ③まさお
 - 4なおきさん

きえ方 ① 速さは、 | 分間あたりに走った 平均の道のりや、 | m あたりにかかった 平均の時間などの「単位量あたりの大きさ」 を使って比べることができます。

④ | 分間あたりに走った平均の道のりはけいた 48÷3=|6(m) なおきさんのもけいの自動車のほうが、 | 分間あたりに走った平均の道のりが長いので、なおきさんのもけいの自動車のほうが速いといえます。

- ① ① I、5、72 ②60、I.2、I.2
 - **③1.2、20**
- ② ①式 15÷20=0.75 答え 分速 0.75 km(750 m) 式 0.75×60=45

答え 時速 45 km

②式 20-5=|5(分)、|5÷|5=| |×60=60 **答え** 時速 60 km

考え方 ② ① | 時間は 20 分の 3 倍と考えて、時速は、 | 5×3=45(km) と求める方法もあります。

②分速を求めてから時速を求めます。

53。 ⑫ 単位量あたりの大きさ **53**

- 1 $065 \times 3 = 95 \text{ (km)}$ $265 \times 5 = 325 \text{ (km)}$
- ② 式 |20×6=720 答え 720 m
- ③ ①式 □=|50÷50=③ 答え 3時間②式 50×□=350

 $\square = 350 \div 50 = 7$

答え 7時間

4 式 19200÷1600=12

答え | 2分

考え方 1、**2** 道のりは次の公式で求めることができます。

道のり=速さ×時間

4 かかる時間を□分とします。 19.2 km=19200 m だから、 1600×□=19200 となります。

54。 ② 単位量あたりの大きさ **54**

1 式 120000÷96=1250

答え | 250人

2 かよ子さん 式 48.6÷9=5.4(kg) おさむさん 式 69.6÷12=5.8(kg)

答え おさむさんの家の畑

- 3 ①式 |8÷|5=|.2 |.2×60=72 答え 時速 72 km
 - 2144 km
 - ③秒速20 m
 - **考え方 3** ① | 時間は | 5 分の 4 倍と考えて、時速は | 8×4=72(km)と求める方法もあります。
 - ② $72 \times 2 = 144(km)$ として求めます。
 - ③分速は $|8\div|5=|.2(km)$ 、
 - 1.2 km= 1200 m だから、秒速は 1200÷60=20(m)となります。
 - *** 単位量あたりの大きさを求めるときは、 | kg あたり、 | m² あたり、 | 分あたり(分速) …のような単位になる量がわる数になります。 2 つの量のうちどちらが単位量になるか、問題文をよく読みましょう。

55。③ 四角形と三角形の面積 55

- ① ①24 cm² ②28 cm² ③2 l cm² ④22.5 cm² ⑤99 cm² ⑥17.5 cm² ⑦32.5 cm²
- ② ①式 4×4.5=18
 答え 18 cm²

 ②式 2×5=10
 答え 10 cm²
- **考え方** 平行四辺形の面積は、次の公式にあてはめて求めます。

平行四辺形の面積=底辺×高さ

- 2 高さが平行四辺形の外にある場合です。
 - ①底辺が4cm、高さが4.5cmです。
 - ②底辺が2cm、高さが5cmです。

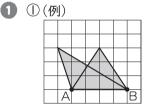
56。 ③ 四角形と三角形の面積 5

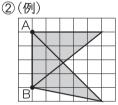
- ①⑦'、①'、2
 ②底辺、高さ、2
- ② ①6 cm² ②2.4 cm
- (3) ①27 cm² ②14 cm² ③12 cm² ④20 cm² ⑤10.5 cm²
- **考え方** ① 三角形の面積は、次の公式にあてはめて求めます。

三角形の面積=底辺×高さ÷2

- $2 \oplus 4 \times 3 \div 2 = 6$
 - ② $5 \times$ 高さ÷2=6 高さ= $6 \times 2 \div 5 = 2.4$ (cm)
- ③ ②底辺が7cm、高さが4cmです。

57。 ③ 四角形と三角形の面積 57。





- 2 ① 1 2 cm² ②32 cm² ③30 cm² 3 ① ♠ と ⊙ ②8 cm²
- **考え方** ① ①辺AB を底辺として、高さが 3 cm の三角形をかきます。②辺AB を底 辺として、高さが5 cm の三角形をかきます。
- ② 高さが三角形の外にある場合です。
 - ①底辺が4cm、高さが6cmです。
 - ②底辺が8cm、高さが8cmです。
 - ③底辺が6cm、高さが | 0 cm です。
- ③ ①あ、①、③は底辺が同じ三角形なので、 高さが等しいとき、面積が等しくなります。 ②あと②の三角形は高さが同じなので、底 辺の長さが2倍になると、面積も2倍になります。

58。 ③ 四角形と三角形の面積

- 🕦 上底、下底、底辺、高さ、上底、下底 台形の面積=(上底+下底)×高さ÷2
- $2 \oplus 28 \text{ cm}^2 \oplus 2156 \text{ cm}^2 \oplus 3117 \text{ cm}^2$ ⑤ I 8 m² $(4)42 \text{ m}^2$
- **考え方** ② 公式にあてはめて求めます。
 - ②高さは | 2 cm です。
 - ③高さは9cm です。
 - ④高さは7mです。
 - ⑤高さは6mです。

5 % (13) 四角形と三角形の面積

- 1 2、4、8、4、8、16
- ② ①式 6×4÷2=12

答え 12 cm²

②式 $4\times7\div2=14$

答え | 4 cm²

- **③** ①10 cm² ②5倍
- 考え方 ② ①ひし形の面積は、次の公式で 求めます。

ひし形の面積

- =一方の対角線×もう一方の対角線÷2
- ②ひし形の面積と同じように考えて求めます。
- 3 高さが2倍、3倍、…になると、面積も 2倍、3倍、…になります。

60。 ③ 四角形と三角形の面積

- \bigcirc 050 cm² $(2)52 \text{ cm}^2$
 - $(3)28 \text{ cm}^2$
 - 40 1 6 cm²
- ⑤24 cm²
- 627.5 cm²

- 2 | 4 cm²
- \bigcirc 036 cm²
- $29 \, \mathrm{cm}$
- **考え方 1** 24高さが外にある場合です。
 - ②底辺が4cm、高さが | 3 cm です。
 - ④底辺が2cm、高さが | 6 cm です。
- 2 大きい三角形の面積から小さい三角形の 面積をひくと、

 $7 \times 7 \div 2 - 7 \times 3 \div 2 = 14 \text{ (cm}^2\text{)}$

また、左右2つの三角形に分けて、

 $4 \times 2 \div 2 + 4 \times 5 \div 2 = 14 \text{ (cm}^2)$

として求めることもできます。

- 3 ①三角形の面積は、底辺の長さに比例す るので、底辺の長さが4倍になると、面積 も4倍になります。
 - ②面積が 27÷9=3(倍) になっているの で、底辺の長さも3倍です。

成50 底辺と高さは垂直です。余分な長さ にまどわされないようにしましょう。

図形の角/偶数と奇数、倍数と約数/ 分数と小数、整数の関係

- **1** ⊕85°
- $(2)65^{\circ}$
- 1 0 1 8 cm
- ②6まい
- 😰 12人 $4 \cdot 0^{\frac{4}{3}}$
- **1** ①0.75
- 20.625 33.5

- $(5)\frac{13}{1}$ $(6)\frac{109}{100}(1\frac{9}{100})$

考え方 1 三角形の3つの角の大きさの和 は 180°です。

- (3) | 80 (40 + 55) = 85
- $\bigcirc 180 (75 + 40) = 65$
- 😰 ①最小公倍数を考えます。
- 🚯 最大公約数を考えます。
- $\bigcirc 16 \div 12 = \frac{16}{12} = \frac{4}{3}$
 - $25 \div 7 = \frac{5}{7}$

分数のたし算とひき算/平均/ 単位量あたりの大きさ/四角形と三角形の面積

- $2\frac{4}{3}(1\frac{1}{3})$

- $(5) | \frac{1}{5} (\frac{6}{5})$
- 介式 45×100=4500 $4500 \div 1000 = 4.5$

答え 4.5 t

 $18000 \div 45 = 400$

答え 400人

- 3 ①時速70 km $2105 \, \text{km}$
 - ③4時間
- \bigcirc (1)48 cm² (2)35 cm² (3)20 cm²

考え方 ☆ 分母のちがう分数のたし算、ひ き算は通分して計算し、答えは約分しま しょう。

☆ lt=1000 kg です。

③ ①速さ=道のり÷時間

②道のり=速さ×時間

③かかる時間を□時間とすると、

75×□=300

 $\square = 300 \div 75 = 4$

☆ どの長さが底辺と高さかを考えましょう。

 $(1)6 \times 8 = 48 \text{ (cm}^2)$

 $25 \times 14 \div 2 = 35 \text{ (cm}^2$)

③は、上下2つの三角形に分けて、2つの 三角形の面積をそれぞれ求めます。

63。 (4) 割合

23、12、0.25 1 06, 15, 0.4

3 < 4 (4)割合

⑤比べられる量、もとにする量

2 ①⑦0.625 ④0.5 **90.6** ②バドミントン ③茶道

考え方 2 ①⑦20÷32=0.625

 $\bigcirc 12 \div 24 = 0.5 \bigcirc 21 \div 35 = 0.6$

64。 (4) 割合

① ①6、24、0.25 ②パーセント、%

3100 4100 (5)25

② 式 420÷1400=0.3

答え 30% $0.3 \times 100 = 30$

3 18% 260% 3153.9% 4300 %

4 ①0.09 ②0.27 ③1.3 ④0.008

考え方 3 ①0.08×100=8→8%

 $31.539 \times 100 = 153.9 \rightarrow 153.9 \%$

 $43 \times 100 = 300 \rightarrow 300 \%$

4 $\bigcirc 9\% \rightarrow 9 \div 100 = 0.09$ $40.8 \% \rightarrow 0.8 \div 100 = 0.008$ (65。 (4) 割合

1 00.18 ②もとにする量、割合 3300, 0.18, 54

② 式 60×1.6=96 答え 96人

3 ①1.2 ②1.2、1.2、15、15

4 式 □×0.15=6

 $\Box = 6 \div 0.15$ =40答え 40人

考え方 4 もとにする量は、□を使って式 をつくり、求めます。

66。(4) 割合

1 ①40

2195 3800

② 式 260×0.9=234 答え 234人

③ 式 350×0.2=70

350 - 70 = 280答え 280円

4 式 600×0.25=150 600+150=750 答え 750円

考え方 ① ①26÷65=0.4 → 40 %

 $2|30\% = 1.3 |50 \times 1.3 = 195$

③□を使って、比べられる量を求めるかけ 算の式に表して考えます。

 $\square \times 0.03 = 24$

 $\square = 24 \div 0.03 = 800$

2 もとにする量は、「予定人数」の 260 人

3 350×(1−0.2)=280でも求められ ます。

4 600×(1+0.25)=750でも求められ ます。

67。 (4) 割合

2105% 340% 4700% **1** ①7% 50.23 60.115 70.009 82.15

2 ①75 2315 3180 43200

3 式 4200×0.15=630

答え 約630 g

4 式 □×0.12=180

 $\square = 180 \div 0.12 = 1500$

答え | 1500円

5 ①2040 21200 考え方 2 それぞれ次の式を計算します。

- ①12÷16
- 2210×1.5
- $312.6 \div 7$
- 4□×0.7=2240

 $\square = 2240 \div 0.7 = 3200$

5 ①2400×(1−0.15)

- =2040
- $2 \times (1 + 0.25) = 1500$

**** 小数の割合を 100 倍すると、百分率(パーセント) になります。百分率を 100 でわると、小数の割合になります。

(68₆ (15) 帯グラフと円グラフ (68₇)

- ① ①帯、円 ②20、15、10 ③4
 - **4**2 **53**、20 **6**12

考え方 ① ②2つのグラフとも同じものを表しているので、どちらから読み取ってもいいです。それぞれ | めもりが | %になっています。

 $680 \times 0.15 = 12(人)$

69。 (15) 帯グラフと円グラフ

- 1 (1) (1) (1)
- (I) I O
- (j)6

69 ページ

- **25**
- **B**13
- ⊛6

② 「いちばん好きなペット」別の人数の割合(4年生)
 犬 ねこ 小鳥 う さ その な 他

「いちばん好きなペット」別の人数の割合(5年生)

0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100%

和こ 犬 小鳥 う さ その を 他

0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100%

④5、さかな

(70. 16) 変わり方調べ

70 ~->

1 1

正三角形の数()(こ)	-	2	3	4	5	}
おはじきの数△(こ)	9	14	19	24	29	_

- 25、I、2、I
- $39+5\times(\bigcirc-1)=\triangle$
- ④式 $9+5\times(30-1)=9+5\times29$ = 9+145

= 154

答え | 54 こ

考え力 図で表すと、次のようになります。



71. ① 正多角形と円周の長さ 71,

- ①等しい、等しい ②正方形 ③45°
- ② ①正六角形 ②正九角形 ③正十角形
- 3 ① ②× 3×
- **考え方** ① ③360÷8=45

[72。 ⑦ 正多角形と円周の長さ <u>72</u>]

- ① ①円周 ②円周率、円周、直径 ③円周率
- **2** ①43.96 ②9.42
- ③ 式 □×3.14=37.68 □=37.68÷3.14=12

答え | 2 cm

- ④ ①あ12.56 ○18.84 ③25.12 ②比例している。 ③3倍
 - **考え方 2**、**3** 「円周=直径×円周率」を 利用して求めます。

円周率は、ふつう 3.14 を使います。

- ② ②半径が 1.5 m だから、直径は 1.5×2=3 (m)となります。
- ④ ②半径が2倍、3倍、…になると、それにともなって円周も2倍、3倍、…になっています。
 - ③半径が2cmから6cmへと3倍になっています。

⑱ 角柱と円柱

73

- - ②正方形、合同、平行、垂直
 - ③四角柱
 - ④円、2、平行、曲面
- 2 ①側面…3つ

頂点…6つ

2)2倍

③3倍

74. (18) 角柱と円柱

74 ページ

- ○○ 八六角柱 **4**点H
- ②長方形
- $310 \, \text{cm}$
- ⑤辺 F F
- 2 (1)C
- 212.56 cm

考え方 ① ③側面の長方形のたての長さが 角柱の高さになります。

② ①底面である2つの円は、組み立てたと きに向かい合わなければいけないので、A やBではいけないということになります。 また、Cの位置は、つける辺をまちがえな ければ、辺のどこにつけてもかまいません。 ②側面の横の長さは、底面の円周の長さに 等しくなります。

プログラミングを体験しよう

- 1 05, 60, 5
- 25, 60, 6
- 2 6、90、4、90

76。 整数と小数/直方体や立方体の体積

17.48

23.82, 38.2

30.482 \ 0.0482

2 ①5.432 l

23.1245

③ ①式 3×3×3=27

答え 27 m³

 $5 \times 13 \times 3 + 5 \times 5 \times 3 = 270$

答え 270 cm³

4 式 深さを□cm とすると、

 $16 \times 25 \times \square = 2000$

400×□=2000

 $\square = 2000 \div 400 = 5$

答え 5 cm

考え方 ② ①大きい数字のカードから順に あてはめます。

②3より大きくて3にいちばん近い数 3.1245と、3より小さくて3にいちば ん近い数 2.543 | をつくって比べます。

小数のかけ算/小数のわり算/偶数と奇数、倍数と約数/ 分数と小数、整数の関係/分数のたし算とひき算

- **1** ①7.52
- **211.52**
- (4)0.742
- (5)5.5
- (7)3.75
- ® 15
- **2** ①36、72、108
- 21, 2, 3, 6

336 I

60.8

100.9

 $4 \cdot 0 \frac{13}{15}$

- 22.75
- $3\frac{93}{100}$ $4\frac{2}{1}$
 - $33\frac{2}{3}(\frac{11}{3})$

- 4 4

 $2\frac{7}{9}$

考え方 ☆ ①~④整数と同じように計算し て、あとから、小数部分のけた数の和だけ、 右から数えて小数点をうちます。

⑤~⑧わる数が整数になるように、わられ る数とわる数の小数点を、同じけた数だけ (ここでは | けた)、右にうつして計算しま す。

- ① 4.7 $\times 1.6$ 282 47 7.5 2
- 2 6.4 $8.1 \times$ 11.52
- 95 $\times 3.8$ 760 285 36 I. Q
- 4 0.5 3 × 1.4 53 0.742
- 5.5 6.8)37.4 340 3 4 0 3 4 0 0
- 3,5)2,8.0 280

0.8

- 3.75 9.6)36.0 0,4)6,0 288 720 672 480 480
- 公倍数 36 の倍数です。

②18と30の公約数は、18と30の最 大公約数6の約数です。

😚 分数を小数で表すには、分子÷分母を 計算します。整数は分母が | の分数で表し ます。

$$32\frac{4}{15} + 1\frac{2}{5} = \frac{34}{15} + \frac{7}{5} = \frac{34}{15} + \frac{21}{15}$$
$$= \frac{55}{15} = \frac{11}{3} \left(3\frac{2}{3} \right)$$

$$4 \frac{5}{6} - \frac{2}{3} = \frac{5}{6} - \frac{4}{6} = \frac{1}{6}$$

単位量あたりの大きさ/ 四角形と三角形の面積/割合

 $14 \times 80 = 1120$ 答え 1120 m

- $2 \oplus 30 \text{ cm}^2$ 228 cm² **3** ①42.5

 - 24.5
- **全** 式 □×0.25=625
 - $\square = 625 \div 0.25 = 2500$

答え 2500円

324 cm²

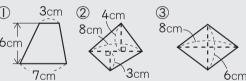
★ 式 1-0.35=0.65 $800 \times 0.65 = 520$

答え 520円

考え方 ② ①形は台形です。

 $(3+7)\times 6 \div 2 = 30 \text{ (cm}^2)$

- (2)8×4÷2+8×3÷2=28 (cm²)
- ③形はひし形です。8×6÷2=24(cm²)



三角形の面積は、

 $8.5 \times 4 \div 2 = 17 \text{ (cm}^2)$

- ①底辺の長さが決まっている三角形では、 面積は高さに比例するから、高さが25 倍になると面積も2.5倍になります。
- ②高さが決まっている三角形では、面積は 底辺の長さに比例します。面積は、

76.5÷17=4.5(倍)になっています。

☆ 800×(1−0.35)=520 として求め ることもできます。